

研究だより

校内研究便り ⑤
令和3年5月17日
研究推進部

今週は第1回目の研究授業です

研究主題「授業における学習過程の研究～シンキング・サイクルの活用による「見方・考え方」の習得～」に迫るために、6年生が社会科で研究授業を実施します。

小単元は、「国づくりへの歩み」。本時は「**縄文時代と弥生時代、どちらの時代で生活したいか考える**」という学習活動です。子供たちが時間・空間・人間関係また衣食住の様々な見方で「どちらで生活したいか」考えます。**見どころはそれを全体で共有する場面**です。シンキング・サイクルでいう「**情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現**」が子供たちの頭の中で繰り返し行われることと思います！

12日（水）にM先生が事前授業を**研究授業と同じ環境**でしてくださいました。前もって長机とパイプ椅子、ホワイトボードと電子黒板を運んで教室に近い環境を作りました。

急きょ体育館の都合をつけてくださった先生もいらっしやると聞いています。ご協力ありがとうございました。



先生や子供たちの声が反響して聞き取りにくい、後ろの席の子供たちがホワイトボードを見づらいという問題点は多少ありました。

しかしさすがは6年生で、特に変わった様子もなく粛々と学習に取り組んでいました。もちろん、6年生だからできたことだと思います。低学年の授業はどうするか・・・。お知恵がありましたら教えてください。

当日までの役割を各分科会で確認してください。当日の日程も確認のうえ、授業の最初から参観できるようにしてください。